

# 第43回速記科学研究会 合同研究会のご案内

## 速記・言語科学研究会

と き：2019年9月1日(日) 午前：総会・個別研究 午後：公開講演会

ところ：京都府立大学 稲盛記念会館2階、視聴覚教室

(京都市左京区下鴨半木町1-29 地下鉄烏丸線「北山駅」下車、1番出口を出て南へ徒歩約5分。文学部の敷地内です)

主 催：速記科学研究会、速記・言語科学研究会

後 援：(公社)日本速記協会

(日程)

9:30 速記科学研究会総会 (午前中は速記科学研究会としての行事ですが、会員でない方もご参加いただけます)

10:00 「速記140年史調査計画の説明」 兼子次生  
「早稲田式、中根式で工夫したこと」 加古修一  
ほか2件を予定

公開講演会「速記の進歩～世界、日本語、将来」

12:50 公開講演会開始 司会：小原 勉 日本速記協会京都ブロック長

13:00～14:00 講演1「インテルステノ2019報告」

京都大学情報学研究科 河原達也

〔メモ〕速記の国際会議として1887年、ロンドンで始まったインテルステノは、ことしイタリアのサルディーニャ島カリアリで開かれた。古代の速記が行われた歴史の国は、いま音声認識でリアルタイムの会議内容を伝える最新技術に挑戦する。欧州では記録、通訳、そして多言語同時翻訳時代に入った。

14:00～15:00 講演2「常用漢字・人名漢字の音訓とその衝突」

京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター 安岡孝一

〔メモ〕音を聞いても聞き分けられない漢字というのは、どの程度本当にぶつかっているのかを2,999字全部にデータを示して議論したい。

(質疑応答) (休憩)

15:15～16:15 講演3「近代漢語と速記」

京都大学文学部 アルベケル・アンドラーシ・ジグモンド

〔メモ〕幕末以降に生み出された膨大な漢語は、明治時代の速記符号(略語)と速記実例にどの程度反映されたかについて報告する。

16:15～16:40 講演4「速記と京都」

速記文化研究所 兼子次生

〔メモ〕日本語の速記を初めて教えた田鎖綱紀の京都での生活、中根正親が三高在学中に発案した中根式速記、それを弟中根正雄から学んだ巡查、岩村学は大本教事件の捜査に用いたという。同志社大学速研、立命館大学速研、京都大学速記部の活動など、速記の足跡を見る。

16:40 意見交換

16:50 閉会

以上

参加費 未定ですが、資料作成費等実費を申し受けます。

会員については、会費を徴収します。

参加申し込みは **8月27日(火)** までに加古宛てにお願いいたします。

〒476-0011 東海市富木島町北島17

加古修一

TEL 052-603-4086

FAX 052-601-6343

eメール YQB02710@nifty.com

携帯電話 090-2573-9353

携帯メール sten-eska\_2004@docomo.ne.jp

## 宿泊及び懇親会のご案内

研究会前日8月31日(土曜日)の懇親会及び宿泊は特に用意しておりません。

宿泊は、各自会場付近のホテルをご予約ください。

懇親会も特に用意はしませんが、ホテルにチェックイン後、京都駅のどこかで集合して近辺で食事をしましょう。集合場所は、お申し出のあった方にお知らせいたします。午後7時ごろから始めたいと思います。午後6時45分ごろご集合ください。

-----きりとりせん-----

9月1日(日) 研究会

参加 不参加

8月31日(土) 懇親会

参加 不参加

住所 〒

電話番号

携帯電話番号

eメールアドレス

携帯メールアドレス

ご氏名 \_\_\_\_\_